

非常に使えると言われる建築大工見習いになりました。

ポリテクセンターいわき 住宅サービス科
平成 23 年度 6 月生 本海 健二

住宅サービス科の訓練を修了し、個人事業主を目指し職人の見習いとして働き始めました。

道具や材料、部材や遣り方すべての基本知識を身に付けた見習いとして、大変重宝されています。

通常の仕事をする上での知識は、6 ヶ月の訓練でほぼ身につきました、足りないものは経験と応用と言った所です。

東日本大震災で人生の転換期を迎え、ボランティア活動（消防団など）を通して震災からの復興を目の当たりにしました。

偶然店舗の再開を迎える準備に立ち会うことが出来、復興と建築業との前向きで明るい現場に「今、この業界で働きたい！」との気持ちが強くなりました。

早速ハローワークに相談し ” ポリテクセンターいわき 住宅サービス科 ” へ入所の手続きを済ませ熱い思いを面接にぶつけ、訓練の受講を許されました。

6 ヶ月の受講は素晴らしい講師と充実した訓練、心の許せる仲間と共に、無理なく住宅に関する基礎知識（製図や JW_CAD）を学び、基本的な大工道具の取り扱い技術及び、実際に基礎工事準備・軸組・和室・洋室・小屋作り・下屋作りを建てる体験が出来ました。

講義以外の自分の時間に、関連する資格に対する勉強をするチャンスも得て、大変充実した 6 ヶ月を過ごす事が出来ました。

今は震災で破壊された住宅の修理を手伝いながら勉強中、今後増えるであろう仲間と共に自分達も含め、いわき市の復興に、ポリテクセンターいわき 住宅サービス科で学んだ基礎知識をフル活用して、身近な笑顔をどんどん増やしていきたいです。

今の私の座右の銘

” 仕事に役立つ訓練で学んだ基礎（職業訓練）の上に、しっかりした軸組の建物（住宅）を被災地復興の旗印の下、建築する！（サービス）” = 職業訓練 住宅サービス科（笑顔）